

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010300		事業の種類	0		
年度	2	事務事業名	土地利用規制等対策事業		予算事業名	土地利用規制等対策事業	優先度	-
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	片山 和彦	担当者名	藤岡 周平
		取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		国土利用計画法・公有地の拡大の推進に関する法律等						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	土地取得者・土地を有償で譲り渡そうとする当該土地所有者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	総合的で計画的な国土利用を図る。また、必要な土地の先買いを行い、公有地の拡大の計画的な推進を図り、もって地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		一定面積以上の土地取引において、買主から出された「土地売買等届出」を受理し、県に進達する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	国土法届出件数	件	4	4	4	
	公拡法届出件数	件	3	1	0	
	用地取得面積	m ²	0		0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.040	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	667,100	670,309	100	641,720	96		
	事業費	1,780	1,795	101	1,980	110		
	合計	668,880	672,104	100	643,700	96		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	11,000		0		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	657,880	672,104	102	643,700	96		
合計	668,880	672,104	100	643,700	96			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		届出件数の増減						
指標説明(式)		国土法届出件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	0	0	-	3	-	0.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0		
指標名2		届出件数の増減						
指標説明(式)		公拡法届出件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	0	0	-	0	-		
	実績	3	1	33.3	0	0.0		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	法令上の届出基準を遵守し、届出等の受理を行った。	3
効率性	執行体制の効率性	速やかに届出等を受理し、県に送付を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公拡法による届出、申出事務が平成24年度より市に権限移譲されたが、届出件数はほとんどない状況である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	届出内容について、県との連絡調整が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	県との連絡調整の効率化。

配点	32.5
総合評価	9

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010400		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	都市計画基礎調査事業		予算事業名	都市計画基礎調査事業 優先度 3	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸 担当者名 船曳 直志	
		取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
		実施計画事業名	相生市都市計画マスタープラン見直し事業		都市計画地形図修正事業		
			都市計画道路整備事業		緑の基本計画の見直し事業		
		根拠法規及び関連法規	都市計画法第6条(県からの協力要請)				
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画に必要な事項に関する基礎資料として都市の状況を把握するため調査をする。					
	誰(何)を対象として	都市計画区域の人々					
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市の現状、都市化の動向等を正確に把握し都市計画の決定、変更を行うための基準となる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県都市計画基礎調査要綱に基づき、人口規模、就業人口の規模、市街地の面積、世帯数及び住宅戸数、住宅の規模、建築物の用途、構造、建築面積及び延べ面積等について項目を5年に分けてに調査し、6年目には当初の項目に戻って調査を繰り返している。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	都市計画基礎調査	件	1	1	1		

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.656	0.536	82	0.656	122		
	臨時職員		0.120	-		0		
支出内訳	人件費	5,246,444	4,641,749	88	4,812,040	104		
	事業費	99,853	98,125	98	99,339	101		
	合計	5,346,297	4,739,874	89	4,911,379	104		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	270,000	270,000	100	137,000	51		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	5,076,297	4,469,874	88	4,774,379	107		
	合計	5,346,297	4,739,874	89	4,911,379	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県からの委託状況						
指標説明(式)		委託料						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
円	目標	270000	270000	100.0	137000	50.7	0.0	
	実績	270000	270000	100.0	137000	50.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令で義務付けられている事務事業。	4
	上位施策への貢献度	この調査は、県が主体となるが、しいては本市の将来の都市計画を見直す際の基礎資料となるため十分有効活用が図られている。	
効率性	コストの節減	図面等については、近年徐々に改善され、県のシステムにてWeb入力し、メディアによる提出が不要となり、コスト縮減に努められている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	委託料が減少傾向である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	基礎調査に必要なデータを、各担当から提供をいただく際に、調査項目を精査して効率よく実施する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010500		事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	屋外広告物取扱事業		予算事業名	屋外広告物取扱事業	優先度	3
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	片山 和彦	担当者名	藤岡 周平
		取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		屋外広告物法、兵庫県屋外広告物条例、兵庫県屋外広告物条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	屋外広告物掲出者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	屋外広告物の掲出に必要な規制を行い、街の美観・風致を維持しつつ安全性を高め、市民の安全かつ快適な生活の維持を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		隔週1回(月2回)違法屋外広告物簡易除却事業を実施				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	除却件数	件	3	1	0	
	掲出審査件数	件	254	164	178	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.192	0.192	100	0.192	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,797,068	1,793,589	100	1,670,760	93		
	事業費	548,196	280,368	51	287,052	102		
	合計	2,345,264	2,073,957	88	1,957,812	94		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	535,500		0		-		
	一般財源	1,809,764	2,073,957	115	1,957,812	94		
	合計	2,345,264	2,073,957	88	1,957,812	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		除却件数の増減						
指標説明(式)		除却件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	0.0	
	実績	3	1	33.3	0	0.0		
指標名2		掲出許可件数の増減						
指標説明(式)		掲出許可件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	200	200	100.0	250	125.0		
	実績	254	164	64.6	178	108.5		

【効率性】

指標名1		仕事作業効率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		(除却件数+掲出許可件数) / (1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	0.4	0.4	100.0	0.4	100.0			
	実績	0.69	0.44	63.8	0.53	120.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	件数は毎年異なるので単純に数値で比較できないが、違法広告物の除却を迅速に行うとともに適正な屋外広告物の掲出につなげることで、良好な生活環境の整備が図られる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	屋外広告物は、営業の自由と市民生活の景観や安全との関係上、公共の福祉の制約を受けるものであるから、両者の対立利益を調整する上で必要な施策である。	
効率性	コストの節減	仕事作業効率が向上している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	違反広告の減少により点検活動の、外部委託による費用対効果が減少している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	違反広告の減少により、点検活動を直営により実施

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010700		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	特別指定区域事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名 船曳 直志
		取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法第34条12号・兵庫県都市計画法施行条例8条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市街化調整区域の規制緩和のため「地縁者の住宅区域」を指定し集落周辺に10年以上居住したところのある地縁者であれば住宅建設が可能。					
	誰(何)を対象として	市土地利用基本計画に基づいて特別指定区域を定めた地区。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成18年5月に既存宅地制度が廃止されたことから、この代替施策を兼ねこの度の導入として市土地利用基本計画を策定し地縁者の住宅建設に対応した規制緩和を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地利用計画の策定・特別指定区域の指定(地縁者の住宅区域)				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	土地利用計画策定	件	0	1	0	
	特別指定区域の作成	件	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.560	0.464	83	0.320	69		
	臨時職員		0.140	-		0		
支出内訳	人件費	4,532,780	4,160,669	92	2,537,320	61		
	事業費			-		-		
	合計	4,532,780	4,160,669	92	2,537,320	61		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	4,532,780	4,160,669	92	2,537,320	61		
合計	4,532,780	4,160,669	92	2,537,320	61			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地元説明会開催回数						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	0	0	-	0	-		
	実績	0	0	-	0	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		1ha当たりのコスト							
指標説明(式)		当該年度事業費合計÷市街化調整区域の面積							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	0	0	-	0	-			
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令及び条例等義務付けられている事務事業。	4
効率性	手段の最適性	基礎調査のデータ等の活用により特別指定区域の素案作成を効率的に行うことができる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	市街化区域に隣接する調整区域を、特別指定区域にするまちづくりの検討を推進する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	土地利用計画に沿った、市街化調整区域の土地利用が進められるように、計画の周知等を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010800		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	地区計画決定事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名 船曳 直志
		取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	計画決定予定地区の権利者					
	誰(何)を対象として	区域内の道路、公園等の施設整備、建築物等に関する事項					
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定め良好な住環境の整備を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		一体的な整備及び保全を図る区域について、主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定める。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	決定地区件数	件	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.044	0.020	45	0.032	160		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	696,836	522,509	75	587,560	112		
	事業費			-		-		
	合計	696,836	522,509	75	587,560	112		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	696,836	522,509	75	587,560	112		
	合計	696,836	522,509	75	587,560	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地区計画決定件数						
指標説明(式)		地区計画決定件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標			-		-		
	実績	0	0	-	0	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		地区計画内容権利者協議時間							
指標説明(式)		地区計画決定に当たり、権利者との協議等に要する時間							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
時間	目標			-		-			
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	新市街地において地区計画決定を検討	3
効率性	執行体制の効率性	決定内容の権利者の意向の掌握、合意形成が困難	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	地区計画の候補地が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	地域から、相談等があった場合に対応できるよう、準備を整えておく。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010900	事業の種類	1
年度	2	事務事業名	地籍調査事業	予算事業名	地籍調査事業
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	建設農林部農林水産課
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	長治 宏幸
		取組み事項	計画的な都市空間を形成する	担当者名	松下 亮太
		実施計画事業名	地籍調査事業(システム含む)	実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
		根拠法規及び関連法規	国土調査法		
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民 (土地の明確化により、公共事業及び土地取引等が円滑にできるようになり、個人資産の保全につながる)			
	誰(何)を対象として	土地所有者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	地籍調査地区数	地区	4	4	4

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標	30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	2.220	0.936	42	0.976	104	
	臨時職員		0.876	-	0.650	74	
支出内訳	人件費	16,873,220	9,525,549	56	8,767,714	92	
	事業費	22,197,865	24,232,576	109	29,434,685	121	
	合計	39,071,085	33,758,125	86	38,202,399	113	
財源内訳	国庫支出金	14,051,000	10,275,000	73	14,591,000	142	
	県支出金	5,525,500	5,677,000	103	11,450,000	202	
	市債			-		-	
	その他			-	430	-	
	一般財源	19,494,585	17,806,125	91	12,160,969	68	
合計	39,071,085	33,758,125	86	38,202,399	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業費						
指標説明(式)		事業費						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
円	目標	26010000	25800000	99.2	32799000	127.1	54.4	
	実績	22197865	20950000	94.4	29434685	140.5		
指標名2		進捗率						
指標説明(式)		地籍調査対象面積(優先的に地籍の明確化を図る地域)に対する進捗率						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	13.2	14.5	109.8	16.1	111.0		
	実績	13.2	14.5	109.8	16.1	111.0		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業目標より、交付金の減額等により一部工程が遅れた。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等の意図と合致している。	
効率性	コストの節減	入札による削減が図られている。	4
	執行体制の効率性	事業委託により、効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画より一部の工程が遅れた。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	国からの交付金が減少傾向にあり、事業の進捗が遅れている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	事業執行を円滑に行うために、担当者のスキルアップを図る必要がある。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011000		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	都市計画議事運営事業		予算事業名	都市計画総務費事務経費 優先度 3	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸 担当者名 船曳 直志	
		取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法77条の2第1項・相生市都市計画審議会条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画区域の人々					
	誰(何)を対象として	市の都市計画について					
	意図(どのような状態にしたいのか)	審議会を開催し、事案を諮問し答申を得る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		都市計画法によりその権限に属された事項を調査審議させ、及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査審議する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	都市計画審議会開催	回	0	2	1

3 投入資源

		一般会計						事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.720	0.592	82	0.720	122			
	臨時職員		0.160	-		0			
支出内訳	人件費	5,722,220	5,157,589	90	5,245,320	102			
	事業費	56,332,941	4,038,467	7	770,690	19			
	合計	62,055,161	9,196,056	15	6,016,010	65			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	62,055,161	9,196,056	15	6,016,010	65			
合計	62,055,161	9,196,056	15	6,016,010	65				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		都市計画審議会開催回数						
指標説明(式)		実施開催回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	0.0	
	実績	0	2	-	1	50.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		都市計画審議会1回当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(委員報酬)÷開催回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	54000	54000	100.0	54000	100.0			
	実績	0	49900	-	46100	92.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令及び条例等で義務づけられている事務事業。	5
	成果目標(改善)達成度	都市計画決定により計画的なまちづくりの推進が出来た。	
効率性	執行体制の効率性	平成20年第1回定例会市議会において審議会委員の定数を14人から10人に削減し効率的な運営を図っている。	5
	コストの節減	審議会委員の県外視察を廃止。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	女性審議会委員がない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	女性審議会委員の登用へ向けた協議

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011100		事業の種類	3		
年度	2	事務事業名	土地区画整理事務事業		予算事業名	土地区画整理事務経費	優先度	3
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	船曳 直志
		取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業施行者として、事業執行のための知識及び情報収集を行うことにより、事業の公平性、妥当性を図る。						
	誰(何)を対象として	事業施行者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	制度改正等に対応した適正な事業を執行するため。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		区画整理事業及び住環境整備事業遂行のための上部団体との情報交換				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	研修会等旅費	千円	0	0	0	
	協議会等負担金	千円	25	25	25	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員			-		-		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	369,740	374,709	101	370,920	99		
	事業費	25,000	25,000	100	38,400	154		
	合計	394,740	399,709	101	409,320	102		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	394,740	399,709	101	409,320	102		
合計	394,740	399,709	101	409,320	102			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	協議会等の負担金は、継続的であり前年度と同額である。	3
効率性	コストの節減	研修会出席を見送った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	相生市において、土地区画整理事業実施箇所は無いが、実施済地域の問い合わせ等に、対応し続ける必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	土地区画整理事業について、精通する職員の育成を図る。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030200		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	経由進達事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名
		取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法、県：景観の形成等に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	県					
	誰(何)を対象として	建築確認申請・道路位置指定申請・優良住宅認定申請・耐震改修補助申請・大規模建築物等の届出・建基法上の許認可申請・都計法上の許認可申請					
	意図(どのような状態にしたいのか)	県への経由進達					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建築基準法、租税特別措置法、景観の形成等に関する条例(県条例)に基づき市の意見書、進達書等を付して進達する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	確認申請受付件数	件	3	4	4	
	調査依頼件数	件	130	90	79	
	大規模建築物届出件数	件	4	2	1	
	建基法・都計法許認可申請	件	6	8	16	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.596	0.304	51	0.320	105		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	4,800,404	2,621,269	55	2,537,320	97		
	事業費			-		-		
	合計	4,800,404	2,621,269	55	2,537,320	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	4,800,404	2,621,269	55	2,537,320	97		
	合計	4,800,404	2,621,269	55	2,537,320	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		確認申請1件あたり調査書作成手数料						
指標説明(式)		(指定確認検査機関よりの納入額 + 移譲事務市町交付金) ÷ 調査件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標			-		-		
	実績	3060	2943	96.2	2908	98.8		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		確認申請1件あたり受付処理時間(事前相談含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(56時間) ÷ 1年間の受付件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
時間	目標			-		-			
	実績	18	14	77.8	14	100.0			
指標名2		調査依頼1件あたり受付処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(691時間) ÷ 1年間の受付件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
時間	目標			-		-			
	実績	6	7	116.7	8	114.3			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	建築確認申請の審査が特定行政庁から民間の指定機関へ移行している。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	法的に市の経由進達についての根拠がなく窓口市ということで経由しており、関与の必要性が薄い経由事務がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	1件あたりの事務処理時間の短縮に務める。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030300		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	開発行為関連事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名
		取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	開発計画等のある者又はその代理人					
	誰(何)を対象として	都市計画法32条に基づく同意・協議申請及び29条に基づく開発許可申請					
	意図(どのような状態にしたいのか)	32条に基づく協議及び同意、29条に基づく申請の経由進達					

2 事業の概要 Do

実施の概要		開発行為により設置される公共施設の管理者協議のとりまとめ、開発の技術基準に基づく指導。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	32条協議申請	件	4	5	4	
	29条申請	件	4	4	5	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.660	0.653	99	0.648	99		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	5,276,180	5,200,379	99	4,757,880	91		
	事業費			-		-		
	合計	5,276,180	5,200,379	99	4,757,880	91		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	5,276,180	5,200,379	99	4,757,880	91		
	合計	5,276,180	5,200,379	99	4,757,880	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		32条協議 1件あたり処理期間(事前協議含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(543時間) ÷ 1年間の協議件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
時間	目標			-		-			
	実績	135	108	80.0	135	125.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	帰属される公共施設の管理者協議のとりまとめをする。	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課を対象とする連絡調整会議又は個別各課協議。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	関係各課及び関係機関との協議方法

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係各課及び申請代理人を交えて調整会議を開催し、情報共有や課題の把握を行う。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030400		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	優良住宅・宅地認定事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名
		取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規	租税特別措置法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	優良住宅・宅地					
	意図(どのような状態にしたいのか)	優良住宅・優良宅地の認定基準に適合するものを認定し、税制上の優遇措置を受けてもらう。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		租税特別措置法の認定基準に合う住宅・宅地の認定をする。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	認定件数	件	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分					事業費単位:円
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.016	0.024	150	0.028	117	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	488,684	552,069	113	560,480	102	
	事業費			-		-	
	合計	488,684	552,069	113	560,480	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	488,684	552,069	113	560,480	102	
	合計	488,684	552,069	113	560,480	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1		申請書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数 ÷ 1年間の申請件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
時間	目標			-		-			
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	税の特例を受けるための制度であるが、制度利用者等は少ない。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	制度の必要性が薄れてきている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	1件あたりの事務処理時間の短縮に努める。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030500		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	地区計画適合審査事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名
		取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地区計画決定区域内で建築行為等を行おうとする者又はその代理人					
	誰(何)を対象として	地区計画区域内の建築行為等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	建築行為等が地区計画の決定内容に適合するよう指導することにより区域内の良好な環境の保全、整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地区計画決定区域内における建築行為等の届出書の受付及び決定事項に適合しているかどうかの審査をする。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	受付認定件数	件	1	7	2	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円			備考	
		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.172	0.136	79	0.156	115			
	臨時職員			-		-			
支出内訳	人件費	1,648,388	1,379,749	84	1,427,040	103			
	事業費			-		-			
	合計	1,648,388	1,379,749	84	1,427,040	103			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	1,648,388	1,379,749	84	1,427,040	103			
合計	1,648,388	1,379,749	84	1,427,040	103				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		届出書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数(221時間) ÷ 1年間の届出件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
時間	目標			-		-			
	実績	221	31	14.0	110	354.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	決定区域内の良好な環境の保全、整備状況	3
効率性	コストの節減	審査用のチェック表の作成等審査時間の短縮を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	区域内の土地利用が進むにつれ、届出件数は減少していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	届出後の変更等により、適合していないものがないか、現地確認が必要。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030600		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	道路判定台帳整備事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名
		取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規	建築基準法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	建築計画のある市民及びその代理人					
	誰(何)を対象として	建築基準法上の道路に関する情報図					
	意図(どのような状態にしたいのか)	計画敷地が建築基準法上の道路に接道しているかどうか判断できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建物等建築計画のある市民に建築基準法上の道路の取り扱いについて情報を提供する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	書込路線件数	件	5	5	5	
	閲覧件数	件	189	166	198	

3 投入資源

		会計区分						事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		備考	
	参事以下職員	0.236	0.160	68	0.196	123			
	臨時職員			-		-			
支出内訳	人件費	2,124,164	1,557,109	73	1,697,840	109			
	事業費			-		-			
	合計	2,124,164	1,557,109	73	1,697,840	109			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	2,124,164	1,557,109	73	1,697,840	109			
合計		2,124,164	1,557,109	73	1,697,840	109			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路判定閲覧件数						
指標説明(式)		道路判定結果を閲覧した件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標			-		-	-	
	実績	189	166	87.8	198	119.3		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	道路判定結果を市民の閲覧に供する。	3
効率性	執行体制の効率性	県民局の道路判定結果を地形図に書き込みしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	建築基準法上の道路であるかの判定結果を閲覧に供しているが、未判定の道路が多くある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	県が道路判定する際に必要な資料、情報を前もって準備、提供する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030700		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	市有建物営繕事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名
		取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	関係課					
	誰(何)を対象として	市有建物					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市有建物の営繕工事において担当課にかわり建築技術職員が委託業務内容、工事内容を把握し設計書を作成する。又、契約図書等に基づき請負者に対し契約の履行を指導する。市有建物					

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設管理者に代わり業務委託・工事発注に必要な設計書を作成する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	委託件数	件	0	2	1	
	営繕工事件数	件	9	10	3	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.380	0.996	262	1.060	106		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	3,194,660	7,735,149	242	7,547,120	98		
	事業費			-		-		
	合計	3,194,660	7,735,149	242	7,547,120	98		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	3,194,660	7,735,149	242	7,547,120	98		
	合計	3,194,660	7,735,149	242	7,547,120	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		営繕工事1件あたりの処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(2635時間) ÷ 工事件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
時間	目標			-		-			
	実績	82	160	195.1	513	320.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	施設管理上の営繕工事の実施	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課より受託工事	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	耐震、破損、老朽箇所等の修繕のみを実施し、建物の延命化を図る工事が行われない傾向がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	建物の延命化、施設的环境改善を図る工事の提案をし、施設管理者に予算措置を依頼する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030800		事業の種類	9	
年度	2	事務事業名	住環境整備費事務経費		予算事業名	住環境整備費事務経費 優先度 1	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸 担当者名 名倉 禎庸	
		取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)						
	誰(何)を対象として						
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		旅費、消耗品費のみである。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.036	0.072	200	0.140	194		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	637,364	906,789	142	1,318,720	145		
	事業費	181,660	174,579	96	158,273	91		
	合計	819,024	1,081,368	132	1,476,993	137		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	819,024	1,081,368	132	1,476,993	137		
	合計	819,024	1,081,368	132	1,476,993	137		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	2

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030900		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	空き家対策事業		予算事業名	空家等対策事業 優先度 4	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	宮下 忠和	担当者名	萩原 大樹
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		空き家対策事業					
根拠法規及び関連法規		空家等対策の推進に関する特別措置法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	空家等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	空家等を適正管理することで、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目的とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		空家等実態調査等により空家件数を把握し、適正管理を促す また、優良空家の利活用、老朽危険空家の除却を進める。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	空家件数	棟	985	975	1000	
	空家利活用相談	件	23	25	26	
	空家苦情相談	件	35	37	48	
	指導による改善	件	28	26	34	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.724	0.780	108	0.668	86		
	臨時職員	0.068		0		-		
支出内訳	人件費	5,940,248	6,138,909	103	4,893,280	80		
	事業費	1,548,586	2,683,375	173	2,676,890	100		
	合計	7,488,834	8,822,284	118	7,570,170	86		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	7,488,834	8,822,284	118	7,570,170	86		
合計	7,488,834	8,822,284	118	7,570,170	86			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		空家判定D判定(老朽危険空家等)の件数						
指標説明(式)		地域住民の安全のためD判定の空家(老朽危険空家等)の解消を促す						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
棟	目標	25	20	80.0	10	50.0	0.0	
	実績	19	14	73.7	13	92.9		
指標名2		空家指導による改善率						
指標説明(式)		空家苦情相談のあった案件について指導し所有者が改善を行った割合 計算式 指導による改善件数/空家苦情相談件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	80	80	100.0	80	100.0		
	実績	80.0	70.3	87.9	70.8	100.7		

【効率性】

指標名1		空家等相談会の開催							
指標説明(式)		空家の所有者や相続人等を対象とした空家等相談会の開催							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	5	5	100.0		0.0			
	実績	5	1	20.0		0.0			

指標名2		空家の利活用の促進							
指標説明(式)		空き家バンク契約件数+空家活用支援事業件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0			
	実績	3	8	266.7	0	0.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	空家等対策事業により、老朽危険空家の除却を促進し管理不全空家の解消を図る。また、優良な空家の利活用を進める等により、市民の安全・安心を確保すると共に、地域の活性化を図る。	5
	成果の向上	空家が増加し苦情相談も増える中、状況把握や所有者への指導を適切に行い状況の改善が進んでいる。また、空き家バンクを通じての売買や空家活用支援事業の実績も出ており、事業の成果は向上している。	
効率性	手段の最適性	空家相談会等による情報の提供空き家バンクの運営、空家活用支援事業、老朽危険空家除却支援事業等を行い、空家の課題に対し効果的に対応が進められている。	4
	執行体制の効率性	兵庫県、弁護士会、不動産鑑定士協会等各種関係団体と連携し、相互に情報提供を行い、効果的・効率的な事業運営ができています。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	相生市空家等対策計画に基づき、情報の提供や必要な支援(空家活用支援事業、老朽危険空家除却支援事業、空家相談等)を行い、空家等対策の推進が図られている。	4

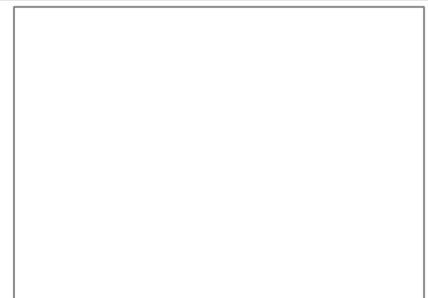
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	所有者等へ空家等の適正管理の促進を行っていく必要がある

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	空家等の業務については、専門的な部分もあるため各専門家との連携体制を整える必要がある



配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101031000		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	住宅耐震改修促進事業		予算事業名	住宅耐震改修促進事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	名倉 禎庸	
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	住宅						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地震に対する安全性の向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		耐震診断を実施した住宅に対する、耐震改修工事費等を助成する。 平成28年度まで県事業の上乗せ補助のみであったが、平成29年度より県事業から市の事業へ移管された。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	申請件数	件	1	0	1		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.320	0.164	51	0.220	134	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	2,748,620	1,586,669	58	1,860,320	117	
	事業費	1,400,000	0	0	1,200,000	-	
	合計	4,148,620	1,586,669	38	3,060,320	193	
財源内訳	国庫支出金	700,000	0	0		-	
	県支出金	600,000	0	0		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	2,848,620	1,586,669	56	3,060,320	193	
合計	4,148,620	1,586,669	38	3,060,320	193		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		改修工事申込件数						
指標説明(式)		改修工事申込件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標	9	9	100.0	9	100.0	0.0	
	実績	1	0	0.0	1	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	耐震改修工事を行い、地震に対する安全性を確保してもらう	3
効率性	手段の最適性	国、県、市が耐震改修工事費等の助成を行い、住宅の耐震化の向上を図る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	処理件数により、コストが増減する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	作業能率の向上によりコスト縮減を図る。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040200		事業の種類	2		
年度	2	事務事業名	再開発住宅管理事業		予算事業名	再開発住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	片山 和彦	担当者名	藤岡 周平	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		再開発住宅管理事業			再開発住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規		相生駅南再開発住宅条例・相生駅南再開発住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南土地地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した相生駅南再開発住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	再住維持管理費	千円	1186	1011	2349		
	再住家賃収入	千円	15669	16875	17813		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100		
	臨時職員	0.220	0.240	109	0.180	75		
支出内訳	人件費	1,871,000	1,873,509	100	1,678,811	90		
	事業費	2,075,257	1,927,705	93	2,349,068	122		
	合計	3,946,257	3,801,214	96	4,027,879	106		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	3,946,257	3,801,214	96		0		
	一般財源	0	0	-	4,027,879	-		
合計	3,946,257	3,801,214	96	4,027,879	106			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		再開発住宅入居率						
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)÷全戸数×100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	80	87	108.8	83	95.4		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		再開発住宅収益率							
指標説明(式)		再住家賃収入／再住維持管理費×100（100%以上が健全経営とする）							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	600	600	100.0	697	116.2			
	実績	1321	1669	126.3	758	45.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者が退去した後の空部屋を有効利用するため、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	4
効率性	コストの節減	施設の修繕が増加傾向にある中、緊急性等を考慮しながら費用の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	建物の老朽化に伴い維持管理費が増加傾向にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	維持管理経費については、限られた予算の中で優先度を見極めながら対応する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040300		事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	市営住宅維持管理事業		予算事業名	公営住宅維持管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	片山 和彦	担当者名 藤岡 周平	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定 無	
実施計画事業名		公営住宅整備事業		公営住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規		公営住宅法、公営住宅法施行令、公営住宅法施行規則 相生市営住宅条例、相生市営住宅条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所地又は勤務地を有する者					
	誰(何)を対象として	住宅に困窮する低額所得者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	低廉な家賃を提供することにより、低額所得者にとって今までの高額家賃から開放され、生活にゆとりが生まれてくる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃でもって健康で文化的な生活を営むに足る住宅を提供するため、これを整備するとともに、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	募集戸数	戸	11	7	0		
	応募者数	人	3	1	0		
	入居戸数(年度末時)	戸	114	109	105		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.168	0.168	100	0.150	89		
	臨時職員	0.260	0.280	108	0.220	79		
支出内訳	人件費	2,338,592	2,330,229	100	1,992,020	85		
	事業費	4,138,505	4,597,319	111	38,541,143	838		
	合計	6,477,097	6,927,548	107	40,533,163	585		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	6,477,097	6,927,548	107		0		
	一般財源	0	0	-	40,533,163	-		
合計	6,477,097	6,927,548	107	40,533,163	585			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		応募倍率						
指標説明(式)		応募者数/募集戸数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	0	0.0	-	
	実績	0.27	0.14	51.9	0	0.0		
指標名2		市営住宅入居率						
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)/管理戸数(151戸)×100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		
	実績	75	72	96.0	70	97.2		

【効率性】

指標名1		市営住宅1戸当たりの維持修繕費							
指標説明(式)		維持修繕費/管理戸数(151戸)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	39735	39735	100.0	33112	83.3			
	実績	23658	24201	102.3	23798	98.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	退去した住宅の修繕を早急に行い、応募者一人当たりの住宅供給度を上げる。	4
	市民サービス	低所得者層への住宅供給を図っているが、老朽化に伴い入居率が減少傾向。	
効率性	コストの節減	老朽化により修繕費が増加傾向。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	令和元年度、2年度の2ヶ年で耐震診断業務を行い、その結果により3年度に長寿命化計画の見直しを行う。(建替え、耐震補強等)	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	耐震診断結果に基づき、新規の募集を停止した。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	長寿命化計画の見直しを行い、住宅管理の方向性を検討する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040400		事業の種類	2		
年度	2	事務事業名	コミュニティ住宅管理事業		予算事業名	コミュニティ住宅管理事業		
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	片山 和彦	担当者名	藤岡 周平
		取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
		実施計画事業名	コミュニティ住宅管理事業		コミュニティ住宅管理事業			
		根拠法規及び関連法規	コミュニティ住宅条例・コミュニティ住宅条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		那波丘の台住環境整備事業及び土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した那波丘の台コミュニティ住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	コミュニティ維持管理費	千円	3388	4979	4728		
	コミュニティ家賃収入	千円	25587	24328	25219		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100		
	臨時職員	0.140	0.160	114	0.124	78		
支出内訳	人件費	1,649,480	1,669,509	101	1,524,658	91		
	事業費	5,050,709	6,657,152	132	3,568,524	54		
	合計	6,700,189	8,326,661	124	5,093,182	61		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	6,700,189	8,326,661	124		0		
	一般財源	0	0	-	5,093,182	-		
合計	6,700,189	8,326,661	124	5,093,182	61			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		コミュニティ住宅入居率						
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)÷全58戸×100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	93	91	97.8	91	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		コミュニティ住宅収益率							
指標説明(式)		コミュニティ住宅家賃収入／コミュニティ住宅維持管理費×100（100%以上が健全経営とする）							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	500	789	157.8	789	100.0			
	実績	755	488	64.6	533	109.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業入居者が退去した後の空部屋を有効利用するために、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴い維持管理経費が増加傾向にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	維持管理経費については、限られた予算の中で、優先順位を見極めながら対応する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040800		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	定住促進住宅管理事業		予算事業名	定住促進住宅管理事業	優先度	3
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	片山 和彦	担当者名	藤岡 周平
		取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名	佐方定住促進住宅管理事業		佐方定住促進住宅管理事業			
		根拠法規及び関連法規	定住促進住宅条例・定住促進住宅条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に定住するために住宅が必要な者						
	誰(何)を対象として	市内に定住するために住宅が必要な者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内に定住するために住宅が必要な者に生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内への定住を促進するために独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より取得した定住促進住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	定住維持管理費	千円	1,005	2,071	1,655	
	定住家賃収入	千円	11,835	10,917	9,823	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.140	0.140	100	0.140	100		
	臨時職員	0.140	0.160	114	0.124	78		
支出内訳	人件費	1,798,160	1,817,309	101	1,660,058	91		
	事業費	1,414,476	2,071,636	146	1,655,070	80		
	合計	3,212,636	3,888,945	121	3,315,128	85		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	3,212,636	3,888,945	-	3,315,128	0		
	一般財源			0		-		
	合計	3,212,636	3,888,945	121	3,315,128	85		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定住促進住宅入居率						
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)／全戸数×100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	64	59	92.2	54	91.5		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		定住促進住宅収益率							
指標説明(式)		定住促進住宅家賃収入／定住促進住宅維持管理費×100(100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0			
	実績	1,178	527	44.7	594	112.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者の増加を図るため、随時、公募による募集を行っているが、入居率が6割未満と他住宅より低い状況にある。	3
	市民サービス	定住促進住宅の入居率が低い要因として、4階建でありながらエレベーターが無い点が挙げられる。このため、今後、有効活用を図る方策の検討が必要。	
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	入居率低下の解消策の検討が必要。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入居率低下の解消策の検討が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	入居率を上げるためのPR

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101041100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	相生市空き家バンク事業		予算事業名	優先度 4	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	宮下 忠和	担当者名 萩原 大樹
		取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市空き家情報登録制度「空き家バンク」設置要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	誰(何)を対象として	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の空き家を利活用し、定住を促進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内における空き家等の有効活用を通じて、都市間の交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	登録物件数	件	3	15	9	
	成約件数	件	3	7	7	
	利用者登録件数	件	6	6	9	
	市内空き家件数	件	985	975	1000	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.072	0.088	122	0.088	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	904,988	1,025,029	113	966,680	94	
	事業費			-		-	
	合計	904,988	1,025,029	113	966,680	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	904,988	1,025,029	113	966,680	94	
	合計	904,988	1,025,029	113	966,680	94	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		物件登録件数のうちの成約件数の割合						
指標説明(式)		成約件数÷物件登録件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	30	30	100.0	30	100.0	0.0	
	実績	100	47	47.0	77.8	165.5		
指標名2		登録、利用相談件数						
指標説明(式)		相生市空き家バンクへの登録、利用相談件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	20	20	100.0	30	150.0		
	実績	18	42	233.3	26	61.9		

【効率性】

指標名1		登録事業者件数							
指標説明(式)		空き家バンク事業の取引を仲介する登録事業者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
社	目標	11	11	100.0	11	100.0			
	実績	11	11	100.0	14	127.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録物件は増加傾向であるが、成約数は伸びていない。	3
	市民サービス	ホームページやチラシを活用し、物件所有者及び利用希望者への情報提供ができています。	
効率性	手段の最適性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部と協定を結び、登録事業者と連携することが事業を進める上で利用者の安心も確保でき、最適な手段である。	3
	執行体制の効率性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部を通して、各登録事業者への通知、依頼等について効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	制度は浸透してきているものの、登録可能な物件が少ない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	制度は浸透しつつあるものの、登録可能な物件が少ない

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	相続前物件については宅建協会に対応を依頼しつつ、県空き家バンクと連携した相談会等の実施に努める

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102010100	事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	安室ダム水道用水供給事業	予算事業名	安室ダム水道用水供給事業	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	企画総務部企画広報課	
		施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る	担当課長	大西 博之	
		取組み事項	上水道の安定供給と安全強化を図る	担当者名	関本 麻梨香	
			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	安室ダム水道用水供給企業団				
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来、高度化する地域住民の生活水準及び宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加となったときのための安定供給及び洪水調節等の治水対策。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		将来の宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加への安定供給及び洪水調節等の治水対策のために建設された安室ダム事業			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	議会	回	2	2	2
	担当者会議	回	2	2	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	488,684	492,949	101	479,240	97	
	事業費	36,884,000	29,278,000	79	21,555,000	74	
	合計	37,372,684	29,770,949	80	22,034,240	74	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	37,372,684	29,770,949	80	22,034,240	74	
合計	37,372,684	29,770,949	80	22,034,240	74		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		安室ダム水源開発費						
指標説明(式)		安室ダム水源開発費経費						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
千円	目標	8,106	4,194	51.7	0	0.0	-	
	実績	8,106	4,194	51.7	0	0.0		
指標名2		安室ダム水道用水供給量						
指標説明(式)		水道用水供給量						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
m ³	目標	0	0	-	0	-		
	実績	0	0	-	0	-		

【効率性】

指標名1		安室ダム水道用水供給企業団議会開催数							
指標説明(式)		安室ダム水道用水供給企業団議会の開催数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0			
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	将来的にもダムを保有する限り、機器更新及び躯体改修等への対応が必要である。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	義務的経費であり、予定どおり償還する以外ない。	
効率性	執行体制の効率性	事務については、相生市・赤穂市・上郡町で構成する安室ダム水道用水供給企業団事務局が行っており効率的である。	3
	コストの節減	償還額が減少したことによる減であり、根本的には変わっていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水需要が見込まれない状況下であり、供用開始されておらず、予定もない。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	安室ダム水源開発費経費は償還完了済みである。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	兵庫県を含めた償還完了後の方向性について協議を検討する。

配点	25
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102010200		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	西播磨水道企業団連絡調整事業		予算事業名	西播磨水道企業団事業 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之		担当者名 関本 麻梨香
取組み事項		上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	西播磨水道企業団					
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨水道企業団事業からの給水を受け、清浄な水を安定供給する。市民への水道用水を供給する企業団と市との連絡調整を行うため必要。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨水道企業団との連絡調整を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	有収水量	m3	3,679,639	3,596,652	3,655,604	
	給水人口	人	29,526	29,124	28,647	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	458,948	463,389	101	452,160	98	
	事業費	1,147,000	1,057,000	92	1,072,000	101	
	合計	1,605,948	1,520,389	95	1,524,160	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,605,948	1,520,389	95	1,524,160	100	
合計	1,605,948	1,520,389	95	1,524,160	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有収水量						
指標説明(式)		水道料金徴収の対象となった水量						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
m3	目標	4,000,000	4,000,000	100.0	4,000,000	100.0		0.0
	実績	3,679,639	3,596,652	97.7	3,655,604	101.6		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		水道議会開催数							
指標説明(式)		水道議会(定例会及び臨時)の開催数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0			
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	水質管理された水が安定して供給されている。	3
効率性	執行体制の効率性	西播磨水道企業団(たつの市との広域)との連絡調整であり、効率的に実施できている。	3
	コストの節減	臨時的な負担金等の発生がなかったため、例年並みの歳出規模となっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	上水道事業としては、広域運営において順調に進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	連絡調整事業としては特に課題はない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	引き続き効率的に実施する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010100		事業の種類	2		
年度	2	事務事業名	港湾管理事業		予算事業名	港湾管理事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸		担当者名	宮崎 晃
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		港湾法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	港湾樋門の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	港湾樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	点検件数	件	20	20	20	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.060	0.080	133	0.060	75		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	815,780	965,909	118	777,120	80		
	事業費	886,520	781,000	88	900,900	115		
	合計	1,702,300	1,746,909	103	1,678,020	96		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,702,300	1,746,909	103	1,678,020	96		
合計	1,702,300	1,746,909	103	1,678,020	96			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減						
指標説明(式)		樋門点検件数の増減						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	0.0	
	実績	20	20	100.0	20	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	0.17	0.13	76.5	0.17	130.8			
	実績	0.13	0.17	130.8	0.17	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

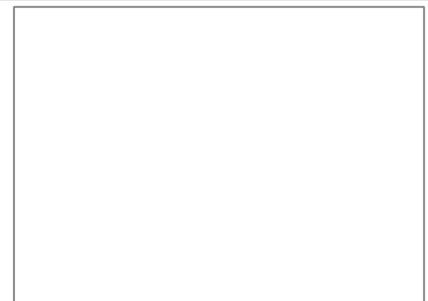
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の開閉作業は、危機管理課主導となるが、都市整備課の操作従事職員の減により開閉作業が困難となる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	新たな操作従事者の育成が必要である。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010200		事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	ポンプ場管理事業(港湾)		予算事業名	ポンプ場管理事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸		担当者名	宮崎 晃
取組み事項	港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		港湾法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	旭ポンプ場の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、旭排水ポンプ場の施設管理を行う。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	操作件数	件	12	9	16		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.148	0.170	115	0.160	94	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,469,972	1,631,009	111	1,454,120	89	
	事業費	1,426,097	1,843,484	129	5,570,796	302	
	合計	2,896,069	3,474,493	120	7,024,916	202	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	1,500,000	1,840,000	123	6,500,000	353	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,396,069	1,634,493	117	524,916	32	
合計	2,896,069	3,474,493	120	7,024,916	202		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
件	目標	25	25	100.0	10	40.0		0.0	
	実績	12	9	75.0	16	177.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		操作件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	0.09	0.08	88.9	0.08	100.0			
	実績	0.04	0.03	75.0	0.05	166.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	4
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	職員数の減により、排水操作が担当課のみでは、実施できず、他課からの応援に頼っている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	担当課のみでの対応ではなく、全庁で対応することが必要である。 外部に委託することによる、業務改善。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010300	事業の種類	2
年度	2	事務事業名	海岸美化対策事業	予算事業名	海岸美化対策事業(都市整備) 優先度 3
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	建設農林部都市整備課
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する	担当課長	名倉 禎庸 担当者名 宮崎 晃
		取組み事項	港湾の維持管理及び有効活用を図る	実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名		海岸美化対策事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	相生湾内の海岸美化(相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾内の海岸美化を促進し、生活環境の保全を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		業務委託により海岸美化を促進する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	回収ゴミ(可燃)	kg	830	340	30	
	回収ゴミ(不燃)	kg	220	0	350	
	回収ゴミ(木くず)	kg	4600	90	110	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.100	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,113,140	1,113,709	100	1,047,920	94		
	事業費	1,466,480	1,627,300	111	1,415,800	87		
	合計	2,579,620	2,741,009	106	2,463,720	90		
財源内訳	国庫支出金	700,000	700,000	100	700,000	100		
	県支出金	383,000	463,000	121	357,000	77		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,496,620	1,578,009	105	1,406,720	89		
	合計	2,579,620	2,741,009	106	2,463,720	90		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	100	100	100.0	100	100.0			
	実績	70.8	78.6	111.0	68.4	87.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	毎年ゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	4
効率性	コストの節減	入札により、コスト縮減が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	台風等の後には、漂着物の回収を実施する必要があるが、流木等の量が膨大な場合は、予算不足になる恐れがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	委託者がある兵庫県と協議し、適切に処理を行う必要がある。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010500		事業の種類	6	
年度	2	事務事業名	港湾整備事業(県事業)		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名 宮崎 晃
		取組み事項	港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規	港湾法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	鵜浜地区住民					
	誰(何)を対象として	相生港鵜浜地区					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生港の多彩な空間を利用					

2 事業の概要 Do

実施の概要		埋立工 V=130,000m ³ 地盤改良 A=3,500m ³				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	工事内容					

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	-	0.030	-		
	参事以下職員		0.042	-	0.042	-		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	369,740	0	-	0	-		
	事業費			-		-		
	合計	369,740	0	-	0	-		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	369,740	0	-	0	-		
	合計	369,740	0	-	0	-		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性		県事業推進に際して詳細な部分で市民ニーズとの調整を図っている。	
効率性		事業費の二重投資等が防止出来ている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010600	事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	海岸美化対策事業(瀬戸内)	予算事業名	海岸美化対策事業(建設管理) 優先度 3	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	建設農林部建設管理課	
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する	担当課長	片山 和彦	
		取組み事項	港湾の維持管理及び有効活用を図る	担当者名	藤岡 周平	
			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名				
		根拠法規及び関連法規				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	相生湾の一斉清掃 (相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)				
	意図(どのような状態にしたいのか)	海岸の環境保全とゴミのポイ捨て防止の啓発を図り、もって、市民が快適に暮らせる街づくりを図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		市・市民ボランティア・関西電力・IHI・漁協等と組み、一斉に相生湾の清掃活動(リフレッシュ瀬戸内)を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	活動回数	回	0	1	0
	回収ゴミ(可燃)	kg	165357	5830	0
	回収ゴミ(不燃)	kg	570	1150	0
	回収ゴミ(汚泥)	kg	0	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.088	0.088	100	0.088	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,023,932	1,025,029	100	966,680	94		
	事業費	148,710	138,412	93	60,000	43		
	合計	1,172,642	1,163,441	99	1,026,680	88		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,172,642	1,163,441	99	1,026,680	88		
	合計	1,172,642	1,163,441	99	1,026,680	88		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数						
指標説明(式)		事業参加者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	450	450	100.0	450	100.0	0.0	
	実績	474	519	109.5	0	0.0		
指標名2		一人あたりのゴミ回収量						
指標説明(式)		(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥)÷参加者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	備考	
kg	目標	6.7	8.9	132.8	8.9	100.0		
	実績	350	13.4	3.8	0	0.0		

【効率性】

指標名1		活動事業費の増減							
指標説明(式)		活動事業費の増減							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	116000	148000	127.6	173000	116.9			
	実績	148710	138412	93.1	60000	43.3			
指標名2		ゴミ1kgあたりの回収コスト							
指標説明(式)		支出合計額/(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	40	37	92.5	43	116.2			
	実績	1.1	19.8	1800.0	0	0.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年1回の実施ではあるが、毎年大量のゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	4
	組織運営・適正管理	瀬戸内海の路ネットワークの事業の一環として、瀬戸内海沿岸の多数の市町村が海岸美化清掃(リフレッシュ瀬戸内)に取り組んでおり、広域的に取り組むことで事業効果を高めている。	
効率性	コストの節減	“ゴミ1kgあたりの回収コスト”は減少している。	5
	執行体制の効率性	市単独ではなく、相生湾沿岸の企業や漁協、市民ボランティアの協力を得ることで、海岸美化の啓発に有効に寄与している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	5

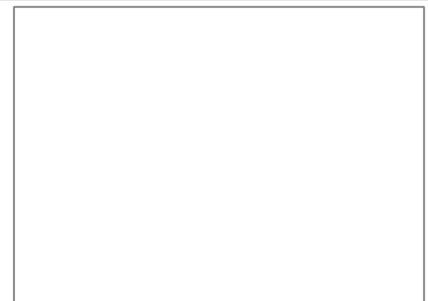
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	マンパワーによる、清掃作業のため新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、国機関の中止要請に基づき事業を中止とした。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	来年度の開催に向け、ホームページ等のPRを高め参加者の拡大を図る。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020100		事業の種類	6	
年度	2	事務事業名	市内一円河川等改修事業		予算事業名	河川等改修事業	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸	
		取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	有	
		実施計画事業名	河川整備事業		担当者名	宮崎 晃	
		主要事業の指定			無		
		根拠法規及び関連法規	河川法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市が管理する河川					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地位住民を水害から守り、安全で心地よい生活ができる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		未整備及び老朽箇所の整備計画を立て整備すること。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	準用河川改修工事	m	0	60	60	
	普通河川改修工事	m	53.0	40	28	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.420	0.358	85	0.358	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	3,492,020	3,020,329	86	2,794,580	93		
	事業費	13,344,560	8,272,420	62	12,193,400	147		
	合計	16,836,580	11,292,749	67	14,987,980	133		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	16,836,580	11,292,749	67	14,987,980	133		
	合計	16,836,580	11,292,749	67	14,987,980	133		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率						
指標説明(式)		工事実施件数 ÷ 工事計画件数 × 100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0			
	実績	99.9	99.0	99.1	100	101.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	防災に配慮した魅力ある河川の整備を図っている。	4
効率性	コストの節減	競争入札を導入し、業者間の競争意識を高めコスト縮減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	コスト縮減を図るため、施工方法を検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	コストを抑えつつ、安全で快適な河川環境を整備する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020200		事業の種類	2		
年度	2	事務事業名	河川管理事業		予算事業名	河川管理事業		
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	宮崎 晃
		取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		河川環境美化整備						
根拠法規及び関連法規		河川法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	河川樋門の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	河川樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	点検件数	件	37	37	37	
	報償金の額	円	111000	111000	111000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.140	0.238	170	0.238	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,410,500	2,133,529	151	1,982,180	93		
	事業費	21,042,480	23,402,340	111	24,186,700	103		
	合計	22,452,980	25,535,869	114	26,168,880	102		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	22,452,980	25,535,869	114	26,168,880	102		
合計	22,452,980	25,535,869	114	26,168,880	102			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減						
指標説明(式)		樋門点検件数の増減						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	37	37	100.0	37	100.0	0.0	
	実績	37	37	100.0	37	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

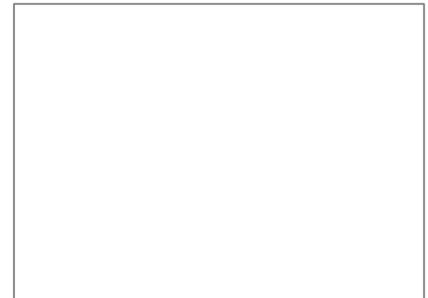
指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×主幹以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	0.11	0.09	81.8	0.08	88.9			
	実績	0.13	0.08	61.5	0.08	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	樋門管理者が主導となり行うべきである。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	樋門管理者と協議を行い、適切に管理を行う必要がある。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020300		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	河川愛護事業		予算事業名	河川愛護事業	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課	
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	片山 和彦	担当者名 藤岡 周平
		取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		なし					
事業の目的	誰のために(具体的に)	河川底の土砂水草除去や護岸の草刈やしゅんせつ等を実施した自治会					
	誰(何)を対象として	河川愛護事業報奨金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民に河川の清掃活動に参加してもらうことで、河川を大切にしようとする心を育み、直接的・間接的に河川美化を促すとともに、自治会活動を強化し地域住民の連携を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		河川愛護事業を実施した自治会に対し、参加人数・実施時間・作業距離に応じて報奨金を支出する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	実施した自治会数	件	19	19	17	
	報償金の額	円	358400	359700	336900	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.108	0.108	100	0.108	100	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.016	80	
支出内訳	人件費	1,227,992	1,223,829	100	1,146,124	94	
	事業費	358,400	359,700	100	336,900	94	
	合計	1,586,392	1,583,529	100	1,483,024	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,586,392	1,583,529	100	1,483,024	94	
合計	1,586,392	1,583,529	100	1,483,024	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施した自治会数の増減						
指標説明(式)		実施した自治会数の増減						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	20	13	65.0	19	146.2	0.0	
	実績	19	19	100.0	17	89.5		
指標名2		報奨金の額の増減						
指標説明(式)		報奨金の額の増減						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	360000	360000	100.0	360000	100.0		
	実績	358400	359700	100.4	336900	93.7		

【効率性】

指標名1		1件あたりの報償金の額							
指標説明(式)		報奨金の額／実施した自治会数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
金	目標	24000	20000	83.3	18947	94.7			
	実績	18863	18931	100.4	19817	104.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	実施自治会がおおよそ限られており、河川流域にありながら実施していない自治会もある。	5
	上位施策への貢献度	住民自ら清掃に携わることで、単に河川の美化清掃の実施に止まらず、ゴミのポイ捨て等を防止させる効果が期待できる。また自治会活動の強化による住民間の連携強化も期待できる。	
効率性	コストの節減	報償金の予算額を配分することでコスト節減を図っている。	5
	手段の最適性	実施回数は各自治会とも年1回程度と、実施頻度が低い。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	5

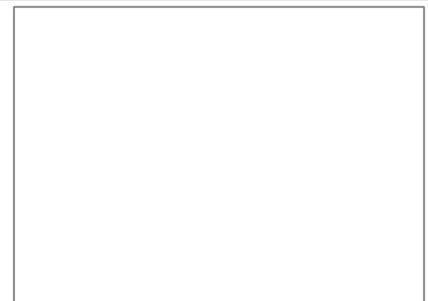
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	住民の高齢化により、作業できない箇所が増えつつある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	実施自治会及び実施回数の増加を促進する。



配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020400		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	ポンプ場管理事業(河川)		予算事業名	ポンプ場管理事業	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名 宮崎 晃
		取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規	河川法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	大谷川排水機場の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	県との協定に基づいて、大谷川排水機場の施設管理を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	操作件数	件	2	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.292	0.212	73	0.172	81		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	2,540,468	1,941,389	76	1,535,360	79		
	事業費	3,632,556	3,504,947	96	3,478,688	99		
	合計	6,173,024	5,446,336	88	5,014,048	92		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	3,893,000	3,893,000	100	3,893,000	100		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,280,024	1,553,336	68	1,121,048	72		
合計	6,173,024	5,446,336	88	5,014,048	92			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減						
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	-	
	実績	2	0	0.0	0	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	職員数の減により、排水操作が担当課のみでは実施できず、他課からの応援に頼っている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	担当課のみでの対応ではなく、全庁で対応することが必要である。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104010100		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	景観形成事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名
		取組み事項	特性を活かす景観をつくる		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	建築物、構造物等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観に対する意識の向上を促し良好な景観形成を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		優れた景観を創造し、又は保全するため県の「景観の形成等に関する条例」に基づく景観誘導。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.220	0.072	33	0.100	139		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	2,005,220	906,789	45	1,047,920	116		
	事業費			-		-		
	合計	2,005,220	906,789	45	1,047,920	116		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,005,220	906,789	45	1,047,920	116		
	合計	2,005,220	906,789	45	1,047,920	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	景観行政そのものが緩やかな行政指導であり、短時間で目に見える効果が上がりにくい。	3
効率性	コストの節減	普及啓発活動として県が作成したパンフレット等の配布	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の景観条例により大規模建築物等については、審査されているが、対象建築物が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	景観行政に関する普及・啓発の方法を検討が必要。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104020100		事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	公園施設維持管理事業		予算事業名	公園施設維持管理事業	
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
		施策名(中)	相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	名倉 禎庸	
		取組み事項	公園、緑地を整備する		実施計画への記載	有	
					担当者名	船曳 直志	
		実施計画事業名	都市公園整備事業		都市公園維持修繕事業		
			中央公園テニスコート芝張替修繕		公園内トイレ改修工事		
			公園台帳データ化事業		公園内のため池改修工事		
根拠法規及び関連法規		公園法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	公園の委託による維持管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市公園等の健全な発達を図り、公共の福祉に資する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		公園の維持管理を委託することで、公園の整備充実を図っていく。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	公園の管理箇所数	箇所	41	41	42	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.332	0.281	85	0.292	104		
	臨時職員	0.040	0.120	300	0.032	27		
支出内訳	人件費	2,948,588	2,757,299	94	2,435,847	88		
	事業費	51,478,369	49,823,773	97	40,142,681	81		
	合計	54,426,957	52,581,072	97	42,578,528	81		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	54,426,957	52,581,072	97	42,578,528	81		
	合計	54,426,957	52,581,072	97	42,578,528	81		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公園1箇所あたりの維持管理コスト						
指標説明(式)		維持管理費/管理公園数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標	1321121	1293390	97.9	986380	76.3		0.0
	実績	1255569	1215213	96.8	948826	78.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住民が気持ちよく施設を利用できるように清潔に維持している。	4
	期待する目標	災害時の避難地にも指定されていることから、日頃の維持管理が必要。	
効率性	コストの節減	みんなで地域を守るという観点からも、地域住民への協力による維持管理の必要性があると思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり事業が進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	維持管理業務委託先の負担軽減

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	長寿命化計画を策定し、公園施設の適正な維持管理を図っていく。

配点	25
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104030100		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	緑化推進事業		予算事業名	緑化推進事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	宮下 忠和		担当者名	岡田 栞
取組み事項		緑化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民にうるおいとやすらぎを与える、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民の緑化に対する関心を高め緑化普及、啓発を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市花と緑の協会に委託し、市内のフラワーポット、花壇の維持管理、栽培用の苗木の配布を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	講習会開催回数	回	3	2	0	
	市内花苗植栽数	株	4674	4596	4,100	
	つばき園の清掃回数	回	5	5	5	

3 投入資源

		会計区分 一般会計						事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考		
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.400	0.404	101	0.360	89			
	臨時職員	0.212	0.012	6	0.012	100			
支出内訳	人件費	3,930,368	3,390,869	86	2,841,153	84			
	事業費	1,355,280	1,344,640	99	845,269	63			
	合計	5,285,648	4,735,509	90	3,686,422	78			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	5,285,648	4,735,509	90	3,686,422	78			
合計	5,285,648	4,735,509	90	3,686,422	78				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		緑化講習会開催回数						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標	3	3	100.0	2	66.7	0.0	
	実績	3	2	66.7	0	0.0		
指標名2		市内プランター・花壇に植栽した花苗数						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標	5000	4000	80.0	3200	80.0		
	実績	3147	3118	99.1	4100	131.5		

【効率性】

指標名1		事業費に係る花苗購入費の割合							
指標説明(式)		花苗購入費÷事業費							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	25	25	100.0	30	120.0			
	実績	25	25	100.0	36	144.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各団体において継続的に植栽管理を行っている。	4
	市民サービス	多様な種類の花苗の配布や市民ニーズの高い講習会の開催が不可欠である。	
効率性	執行体制の効率性	各団体において管理する花壇、プランターの一部に、高齢化により植栽管理が困難な場所が発生してきている。	3
	手段の最適性	各団体同士が情報交換ができるよう事業体制を検討する必要がある。(県のアドプト制度はある)	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各団体同士が情報交換ができるような組織づくりを行う必要がある	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各団体同士が情報交換ができるような組織づくりを行う必要がある

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	駅前プランターを活用した植栽事業を各団体へ参加を促していく

配点	32.5
総合評価	22